

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター	代表者名	理事長 長谷川 計二
事業名	地域連携型若者支援プログラム開発事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2019年 9月 5日	第1回 若者支援プログラム開発のための研究会 テーマ： 事業目標と地域づくりの支援のあり方についての検討
11月 6日	第2回 若者支援プログラム開発のための研究会 テーマ： 講座設計についての検討
2020年 1月 7日	第3回 若者支援プログラム開発のための研究会 テーマ： 講座実施に向けた確認と、若者支援における潮流について意見交換
1月 19日	連続講座「子ども・若者の「声」をきちんと拾い、困りごとに寄り添える地域になるためのコツ」 【第1回】子どもの声を「聴く」とは？子どもの安全・安心の原点を考える。 内 容： 子どもの声を聴くための3つの保障と自己理解 ゲスト： 北野真由美さん（NPO 法人えんばわめんと堺 代表理事）
2月 11日	連続講座「子ども・若者の「声」をきちんと拾い、困りごとに寄り添える地域になるためのコツ」 【第2回】地域は子どもの安全・安心を担保できているか？ 内 容： スクールソーシャルワーカーから見た、学校と地域の現状と先進事例 ゲスト： 寺本智美さん（尼崎市スクールソーシャルワーカー）
2月 22日	連続講座「子ども・若者の「声」をきちんと拾い、困りごとに寄り添える地域になるためのコツ」 【第3回】子ども・若者を支える「家族」を支えるには？ 内 容： 家族を系統的に考える、支援者自身の家族観の自己理解 ゲスト： 渡辺和美さん（ファミリーカウンセラー）
3月 14日	連続講座「子ども・若者の「声」をきちんと拾い、困りごとに寄り添える地域になるためのコツ」 【第4回】子ども・若者が声を上げやすい社会にするために、私たちに何ができるかを考えよう 内 容： 子どもの「声」の分析、環境整備のあり方 ゲスト： 北野真由美さん（NPO 法人えんばわめんと堺 代表理事）
* コロナのため、 開催自粛要請を請 けて中止	

<効果と成果>

経済的困窮家庭・ひとり親家庭の子をはじめとした、しんどさを抱える様々な子ども・若者、そしてその家族を「地域」はどのように支えることができるか、について研究会・連続講座を開催してきた。いわゆる専門家にたどり着くまでに「ばんそうこう」を貼る役割としての地域の可能性はとても大きい一方で、あれもこれもできるわけではない。専門家でなくても、基本的なマインド／スキルをもった市民がいることで、子ども・若者にとって多重なセーフティネットになる可能性について具体的に検討してきた。

今年度は、連続講座を開催し、多地域・多職種の参加者とともに検討した。さまざまな実践例と実践者の価値観を深掘りすることで、支援者の自己理解を促すプログラムを実施した。特に、「子どもの声を聴く」とはどういうことか、を参加者同士で問いながら、地域に求められる役割を整理できたのではないかと考えている。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	350,000
参加費	44,000
自己資金	159,118
合 計	553,118

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直接経費	謝金	277,055	277,055
	旅費交通費	47,760	36,400
	通信運搬費	28,044	28,044
	その他(印刷費、消耗品費等)	200,259	8,501
	小 計	553,118	350,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		553,118	350,000